

2つの農園が経営統合～目標は農業の魅力発信～

仙台市若林区荒浜地区にある平松農園の平松希望さんと(株)仙台あぐりる農園の小倉真紀さんは、令和5年3月に経営統合した。統合後は仙台あぐりる農園の代表取締役兼取締役に平松さんが就任。約1畝の農地にサツマイモや枝豆、落花生、オクラなどを栽培しながら、新たな一步を踏み出す。

二人の就農のきっかけは、東日本大震災の被災地でのボランティア活動だ。被災地で就農し、農機具を共同利用しつつ営農していたが、「経営を一本化して、地域の方々と一緒に、今後の地域農業の在り方を考えたい」との思いで統合に踏み切った。

就農直後は、津波で被災した圃場がれきが残り、病虫害や気候の大きな変化に振り回された。

苦労が続いたが、地域の人々にも支えられた。ベテラン農家が語った「失敗から素直に学び、人から教わり、次に活かすのが大事」を教訓としている。

今後の目標について「栽培技術をしっかり習得したい。地域の未来について、お世話になった方々と一緒に考え、農業の魅力を伝えたい」と二人は話す。

平松さん（画像左）と小倉さん



【記事提供】 仙台市農業委員会